

一般質問通告表

令和2年第1回始良市議会定例会（3月17日）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
6. 堂森 忠夫	1. 工事請負契約等の見直しについて	<p>(1) 蒲生くすの湯は、地下水中ポンプ本体と揚湯管の継手部分のネジ接合部の破損不良で使用不能な状態である。新たな源泉を発掘し稼働して約1年7か月で故障したが、工事契約条件等の施工計画書に、継手部分の非破壊検査による全数検査報告書の提出項目があるのか。また、契約条件の書類等の見直しを図り、このような事案に対応が可能な工事契約等の見直しが必要ではないかを問う。</p> <p>(2) 今後、市は庁舎建設や各施設のメンテナンス工事等を定期的に施工管理するなかで、各分野の専門的な角度から知識を得られる体制を整え、工事等の施工や完成後に不具合が生じない工事契約作成等の体制強化を図れないか問う。</p> <p>(3) 市制施行10年の節目を迎え、その間、大型工事等の発注で、工事関係者はジョイントベンチャーや共同企業体を結成し、技術的にはレベルアップしてきた。</p> <p>しかし、市内業者の育成的な角度から判断すると、設備関連企業等のランクアップを図るべきと考える。更に、市内業者への安定供給が持続する運営に努め、災害時は地元業者が率先しボランティア活動に参画することを条件とするなど、市民満足度アップの工事契約等の見直しを図れないか問う。</p>	市長
	2. 庁舎建設計画について	<p>(1) 本庁舎建設の地質調査が始まったが、調査結果のデータにより本格的な設計に入ると察する。以前、新庁舎建</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 竹林整備について</p>	<p>設に向けて、免震工法で8階での地震時の揺れを体験する企画が開催された経緯がある。本庁舎建設は6階建てと聞いたが、仮に構造を免震工法にすると、将来、装置の疲労で交換のメンテナンスが必要となり6階建てにはコスト高になると思うが、どのような構造になるのか問う。</p> <p>(2) 県は栗野工業高校跡地に木材加工施設を誘致し、壁、屋根、床の構造体の材料等に使用可能なCLT加工材（ひき板3センチメートルを繊維方向が直交するように積層接着した構造材、積層厚は15センチメートルから21センチメートルなど）の普及に努めるとした。3庁舎建設にこのCLT材を活用した設計を採用できないか問う。</p> <p>(3) 蒲生と加治木複合新庁舎建設基本計画（素案）の検討会や勉強会をした。市民の声を整理し、加治木の体育館は計画面積を倍以上にし、蒲生は障害者用体育館の施設建設を提案する。建物はローコストが図れる設計を推進することが、今後の始良市の活性化に寄与すると確信している。市民待望の提案を実現できないか問う。</p> <p>(1) 近年は少子高齢化や自然と触れあう時間が減少した社会環境であり、竹林は台風のために竹が倒れ、多くの山が荒れ放題の状態である。国連はSDGs（持続可能な開発目標）17目標を掲げ、地球規模の社会環境づくりの開発に取り組んでいる。令和時代を生きる世代のために、竹林と触れ合うプロジェクトをできないか問う。</p>	<p>市 長 教育長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>(2) 近年の社会環境は、情報が即入手可能な状況にあり、家に閉じこもりがちな生活を過ごす世代が多くなりつつある。不登校生や引きこもりなど自宅待機型の市民のために、体の健康面を考慮し自然豊かな竹林で、自分の宝掘りに挑戦して汗を流し、竹の成長に合わせた体験学習に取り組むことで、竹林整備に繋がり持続可能な開発推進に対応できると察するが、事業化に取り組めないか問う。</p>	
7. 吉村 賢一	1. 洪水対策と適切な防災指導について	<p>昨今、異常気象による集中豪雨や各所の造成で既存の住宅地において瞬間的な氾濫が増えてきた。市ではエミール幼稚園前やイオン周辺については排水対策が始まっている。そこで以下について問う。</p> <p>(1) 冒頭の箇所以外にも浸水対策を実施したり、具体的計画ができていない箇所はあるか。</p> <p>(2) 塩入・春日線の加治木中学校踏切からクローバー薬局前交差点や仮屋馬場線の田中大橋東のT字路から教頭住宅に至る浸水対策計画はあるか。</p> <p>(3) 高井田郵便局前、弥勒の旧道沿いも課題である。いずれも網掛川への排水口の改良、県道の側溝への繋ぎなど工夫すれば解決できるのではないか。</p> <p>次に加音ホール周辺について以下を問う。</p> <p>(4) 降雨強度10年確率でどの程度の浸水が予想されているか。</p> <p>(5) 過去何度か質問したが加音ホール周辺の浸水対策についても一向に改善する気配が見えない。この水系の流域はどの範囲までと捉えているか。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 防災における自治会の課題について</p>	<p>(6) 当初農道木田振興6号線沿いの住民は建築確認申請の際、適切な指導を受けないまま家を建てている。他の地域でも、危険案件があれば指導助言を与えることはできないか。</p> <p>(7) 加音ホールは指定避難所になっているが、対象自治会はどこまで含むか。</p> <p>(8) この一帯の浸水に対してどのように改善を図るのか。</p> <p>(9) 本格的な治水工事が望ましいが、少ない工事費で、少しでも具体的成果を高める方法は考えているか。そこで、次の3つを提案するが、このことについてどのように考えるか。</p> <p>①この用水路の氾濫水を東村アパート前から塩入川に逆流させるため、衛生処理場線を横断して連絡水路を掘り、塩入川に戻せないか。</p> <p>②国道10号から上流の水は全て網掛川に流せないか。</p> <p>③然るべき場所に一時貯留施設を設けられないか。</p> <p>地域防災計画によると避難支援等関係者に自治会も含まれるが、普段の会員相互の意思疎通が大切である。今回ごみ捨て場の管理と自治会加入を関連付けて以下のことについて問う。</p> <p>(1) 自治会加入は任意だが、万が一の相互扶助を心掛けたら、会員であることが前提と思うがどのように考えるか。</p> <p>(2) 自治会員は会費を支払い、その中で防犯協会や衛生協会へ負担している。一般市民感情として不公平であると思うが、このことについてどのように考えるか。</p> <p>(3) ごみ袋を商工会又は衛生協会の販</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>売とし、その利益をごみステーションの設置補助に充て、管理を衛生協会・自治会の管轄として、未加入者は利用を制限できないか。</p> <p>(4) 結果として、自治会加入率を増加させ、防災対応の充実を図るべきであるがどうか。</p>	
8. 岩下陽太郎	<p>1. 高等教育機関の設置について</p> <p>2. 子ども館設置について</p>	<p>施政方針演説の中でも語られていたが、高等教育機関企画課を新設し、令和元年度は調査研究を行ってきた。令和2年度は更に深く調査研究を行うとしている。そこで以下について問う。</p> <p>(1) 令和元年度高等教育機関企画課の業務内容及び成果について示せ。また、令和2年度予定する業務と目標を示せ。</p> <p>(2) 現時点で設置に向け、手続き等が進められていない理由を説明せよ。</p> <p>(3) 誘致も視野に入れているが、誘致先にどこの土地や建物など提示予定か。</p> <p>施政方針演説の中で力強く語られていた子ども館はかなりスピーディーに進められている。</p> <p>もちろん、早く進めることは悪いことではないが、他の事業とは比較にならないほどのスピード感である。そこで以下について問う。</p> <p>(1) 令和元年第4回定例会にて、保健福祉部において、子ども館の担う事業等をより具体的に検討するように指示をしたと市長より説明があったが、検討された結果を示せ。</p> <p>(2) 子ども館及び周辺整備に関する事業計画はどのようになっているのか。</p>	<p>市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. アリーナの設置・改修について	<p>特に、隣接する民地等の購入に関する進捗状況等を説明せよ。</p> <p>(3) 子ども館に配属するスタッフはどのような資格者が確実に配置されるのか。</p> <p>本年1月、会派でアリーナの視察研修を行ってきた結果、私は始良市が設置に向け検討すべきだと考えている。</p> <p>具体的には、視察したアリーナ立川立飛及び日本財団パラ・アリーナを参考にすると、利用（貸出）競技を絞った上で、健全者だけでなく障がい者にも積極的に貸し出しの行える体育館を始良市が持つことこそ、これからの始良市が目指す街の象徴となるのではないだろうかと考える。そこで、以下について問う。</p> <p>(1) 現在、建て替えを検討している加治木総合支所又は蒲生総合支所において、アリーナ（体育館）を中心とするものがこれまでの検討した中にそのような候補が出ているのか。</p> <p>(2) 始良市が設置する各種体育館等において、改築及び改修の計画が検討されている施設があるのか。また、検討がなされているならば、概算の費用としてどの程度を見込んでいるのか。</p>	市 長 教育長
9. 湯之原一郎	1. 消防団の施設整備について	<p>合併後10年が経過し、消防団の装備については整備が進んできており、旧町単位での格差は解消されてきていると考える。一方、蒲生地区の消防団車庫は、一部で改築されたが、合併前とほとんど変わっていない状況である。</p> <p>近年、各地で大規模災害が頻発しており、消防団の役割は市民生活を守るために、重要度を増してきている。災害出動</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. くすの湯の揚湯ポンプについて</p> <p>3. 障がい者スポーツ施設について</p>	<p>時の待機場所となり、消防団活動の核となる詰所を備えた消防団車庫を整備すべきと考える。以下について問う。</p> <p>(1) 消防団車庫の現状をどのように捉えているか。</p> <p>また、今後の整備方針を問う。</p> <p>(2) 消防団員の確保は十分にできているか。課題はないか問う。</p> <p>くすの湯の揚湯ポンプが故障して、現在バイオマスボイラーと重油ボイラーで沸かした白湯での営業が続いている。くすの湯利用者の中で、いつになったら修繕ができるのか心配する声も上がってきていた。今定例会の追加議案に揚湯ポンプ修繕に係る事業費が計上されたが、今後のくすの湯の運営について、どのように対応していく考えか問う。</p> <p>市政クラブ「始輝」では、政務活動の一環として2か所のアリーナを見学したが、東京お台場に建設されている、障がい者スポーツ用のパラアリーナは、バリアフリー化は勿論のこと障がい者が使いやすいようにトイレ、シャワー、トレーニング設備などを完備した素晴らしいパラスポーツ施設であった。</p> <p>始良市は県の中央部に位置し、交通の利便性も高く、県内・県外各地から来訪しやすい市であることは誰しもが認めるところである。その優位性を活かし、交流人口を増やし、障がい者が暮らしやすいまちづくりに取り組んでいることを示す良い機会になるのではないかと期待して課題提起したい。</p> <p>現在、県内にある障がい者が利用できるスポーツ施設は、県が所管する「ハートピアかごしま」があるが、他の自治体</p>	<p>市 長</p> <p>市 長 教育長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>には、ほとんど見当たらないのが現状ではないか。そこで、以下について問う。</p> <p>(1) 本市の体育施設では、障がい者スポーツの受入れ態勢はどの程度、整っているか。</p> <p>(2) 現在協議中の加治木複合新庁舎に、設置希望の多い体育館を、健常者だけでなく障がい者も気軽に利用できる機能を持った体育施設として建設できないか。あるいは、既にある他の体育施設を、障がい者が利用可能な施設に改修する考えはないか。</p>	
10. 竹下 日出志	1. 視覚障がいのある人への支援について	<p>熊本県天草市は今年度、網膜色素変性症の患者が使用する「暗所視支援眼鏡」について、日常生活用具給付等事業の対象品目に追加した。</p> <p>網膜色素変性症は、暗いところで目が見えにくくなる「夜盲」や視野が狭くなる「視野狭窄」が進み、さらには視力が低下し、失明することもある進行性の病気で、治療法が確立されておらず、国の指定難病の一つである。</p> <p>暗所視支援眼鏡は、小型カメラで捉えた映像を明るい状態で使用者の目の前のディスプレイに投影する。暗い場所では明るく見えるようにするほか、光が強い場所では遮光する機能を持つ。さらに、拡大や縮小ができ、視野の広狭を助ける機能もあるのが特長である。</p> <p>網膜色素変性症の患者は、就労や就学時だけでなく、災害時には身動きが取れなくなるなど、生活に困難を極めている。あらゆる人が安心して暮らしていけるよう、本市でも暗所視支援眼鏡を日常生活用具に認定する考えはないか。</p>	市 長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. イクメン・イクボス宣言について</p> <p>3. 高齢者や障がい者世帯に対するごみ出し支援について</p>	<p>国は、一人ひとりの意思や能力、置かれた個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を選択可能とする社会を追求する働き方改革を呼びかけている。</p> <p>これを受け、職場で働く部下やスタッフの育児や介護など、ワークライフバランスを考慮し、個人の人生と企業等の業績の両立を目指し、イクボス宣言を行う自治体や企業が増えてきている。</p> <p>本市では、2019年度からの5か年を計画とする「第2次男女共同参画基本計画」を策定した。</p> <p>今後、策定計画を基にワークライフバランスについての社会的機運の醸成を図るための広報や啓発、男性の家庭生活への参画を支援する取組など、その施策の一つとして、本市ではイクメン・イクボス宣言はどのように考えているか。</p> <p>近年、高齢者や障がい者などが、できる限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むための施策が推進される中において、ごみ出しが困難な状況にある世帯が必要な支援を受けられないケースが増加している。このような状況の中、国の支援策として「高齢者等世帯に対するごみ出し支援」を創設した。</p> <p>鹿児島市では、まごころ収集（高齢者等戸別収集サービス）として、家庭から出されるごみ・資源物をごみステーションまで運ぶことが困難な高齢者や障がい者などを対象に戸別収集を行っている。</p> <p>本市でも、高齢者等戸別収集サービスを実施する考えはないか。</p>	<p>市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p>